

関東支部 プロジェクトマネージャー 天野 俊基

【ポイント】～既存製品の強みを引き出し新しい市場を開拓～

同社の主力製品は、官公庁向けの水質自動観測装置であって、この分野の有力企業であるが、大型装置であるため受注に波があり安定的な収益を確保できないこと、官公需の縮小、受注時期の集中等の問題があった。この問題を解決し業績拡大に結びつける為には、外部の協力が必要と判断し、支援依頼があった。同社の水質観測装置を中心とする水質観測装置分野では、優れた製品・技術を有しており、この製品・技術力をどう生かして、業績の拡大につなげるかを支援テーマとし、「マーケティング戦略」と「営業改革指針」の策定支援を行った。現在その指針に基づき、経営革新を積極的に進めている。

企業概要

- ▶ 企業名：株式会社東邦電探
- ▶ 業種：計測器の製造・販売
- ▶ 本社所在地：東京都杉並区宮前1-8-9
- ▶ 資本金：44.27百万円
- ▶ 設立：昭和34年3月
- ▶ 売上高：368百万円(平成21年3月)
- ▶ 従業員数：26名



代表取締役 伊藤祐士社長

伊藤社長は、創業者から平成14年に経営を引き継ぎ積極的に製品を開発、経営課題の解決に取り組んできた。特に製品開発に関しては、先進的技術である「太陽電池式無線伝送キャリア」を実現、その技術は高く評価されている。

【一貫して水資源の保護技術に取り組む】

同社は、フィールド仕様の水質・海象・水文観測機器を開発・製造し続けて60年の歴史を有する。その間、電気水温計、電磁式潮流（流向流速）計、計数式微流速計、濁度計、ダム用濁度水温観測装置、電磁式流速計、水質自動観測装置等を次々と開発・製品化してきており、水に関する測定・観測技術に関しては、日本でも有数の高い技術力を有する企業である。

【主力製品の水質自動観測装置】

特に主力製品となる水質自動観測装置は、ダム、河川、海等で24時間自動的に水面から水底まで水質測定をする装置である。装置は、検出部、揚力部、処理装置で構成され、用途に応じて各種センサーを付け、ユーザのニーズに対応した設計を行っている〔外観は次頁下図参照〕。

【先進技術の太陽電池式無線伝送キャリア】

また、「太陽電池式無線伝送キャリア」は、各種水質計を搭載し、太陽電池による、電源ケーブル無し・無線伝送式の水質計フロートキャリアーで、ケーブル工事等が難しい湖面等への設置を可能とし、価格低減も同時に実現した画期的な新技術である〔外観は次頁下図参照〕。

【水保護技術から、新技術・新分野開拓へ】

現在同社は、優れた製品・技術を応用した新規事業開拓と新製品の開発・事業化に積極的に取り組んでいる。その支援についても、引き続き中小機構が行っている。

今後とも、「水」資源の保護に寄与する同社の主力製品・技術は環境保護に必要なものであり、益々の発展が期待される。〔別の代表的製品の一つ、電磁式潮流計（流向流速計）の外観についても、次頁下図に掲載〕

支援課題の設定とプロジェクトマネージャーの視点



天野俊基 プロジェクトマネージャー

主力製品の水質自動観測装置の主な需要先は官公庁である。官公需も、低迷・競争激化の環境下にある。この厳しい経営環境の中、業績拡大の布石となる具体的な経営戦略をどのように構築すればよいか、伊藤社長を中心として色々社内で検討していたが、思うように解決の糸口が見つからなかった。そんな時、取引先の日本公庫新宿支店から中小機構を紹介された伊藤社長が相談に見えられ、今回の専門家派遣による支援に至ったものである。

数度同社を訪問して、同社の製品・技術の把握、競争力・市場・競争相手の分析等を行った結果、現状を打開し、成長路線を実現する為には現有技術力を生かす「マーケティング戦略の策定」と蓄積された信頼と取引関係を生かす「営業改革指針」を策定することが必要と判明した。

支援内容と支援成果

マーケティング戦略の策定支援に関しては、最初の3ヶ月間で、既存市場の評価を行い、当社の技術と製品を生かした新市場分野・新製品の検討を行うこと、そして残りの3ヶ月間で現

営業体制、営業活動の評価等を通して、営業改革指針・計画の策定を行う計画とした。支援期間6ヶ月という短期間ではあったが、これら支援テーマを「経営改革支援シート」として纏めることができた。この「経営改革支援シート」には、経営戦略、経営課題及びその実行スケジュール等が簡潔に纏められ、現在、その指針にそって経営革新が推進されている。

同指針による取り組みの一つとして、ダイレクトメールによる直接販売を試み、早速数件の受注を獲得するなど直接的な成果も得られている。また改革の実行のための製販一体化の組織として、「プロダクトマーケティング部」が新設され、経営改革に向けて大きく踏み出している。

経営者のことば

当社は、創業から一貫して水質計測観測装置を主力製品として営業展開をしてきただけに、社員の意識も既存分野に執着しており、新しい製品開発を通して新事業開拓を自社のみで行うことは難しい状況にありました。

そんな中、今回の中小機構の支援を通して、当社の今後の経営戦略の基本となる進路の策定をして頂いたことに深く感謝しております。



主力製品の水質自動観測装置



先進技術の太陽電池式無線伝送キャリア



電磁式潮流（流向流速）計